

昨夜9時半過ぎに家を出る。途中眠さに勝てずサーブスエリアで仮眠。

日づけをまたいで到着。

夜半激しい雨音。寝付けぬまま窓の外の唐松の梢に目をこらすと星が2つ。

と思う間にまた雨。

起き出して熱い風呂にゆっくり浸かる。

8時起床。快晴。白樺の黄葉がいよいよ優しい。全身を灯りにして周囲に映える。静かに穏やかに山全体が色づき晩秋へ向かう時。唐松の針の葉が降り始める。

ねえ、展望台まで歩こうか。

クリタケ発見!



乾いた落ち葉のなかにりこうぼう(いぐち)の姿もみつけ!

キノコは山の宝石です。

今日のメニュー

昼 キノコシチュー、パン、キャベツとセロリのサラダ ビール

夜 キノコうどん イグチをさっと茹でて大根おろしをからめる 日本酒(大雪溪)

午後 北風になった。唐松たちがざわざわゆさゆさギシギシ。

ストーブに薪を投げ込む。

1994年 10月22日の我が山日記の1ページです。

